



竹の可能性を掘り起こせ。竹友会竹取物語。

京都教育大学竹友会

活動場所

京都市伏見区藤森学区

活動目的・背景

京都教育大学のある伏見区の竹林は放置され荒れている竹林が多い。本事業の目的は、第一に京都の竹の文化的、歴史的背景を知ってもらうこと、第二に新たな活用方法や竹の有用性を示すことで竹の魅力の再発見を促すこと、第三に地域の新たな文化として竹灯籠のライトアップや教育大という強みを生かした門松を用いた教材の開発をすることである。



取組概要

京都教育大学のある藤森地域一帯に広がる竹林から竹を切り出し、竹灯籠、竹馬、竹ぼっくり、門松、竹のプランコに加工して地域のイベントに展示、出展して体験してもらったり、藤森学区連合自治会の方と連携してイベントの企画、運営をしている。



成果・今後の課題

活動を通して学生が竹のものづくりの実践を通して竹の有用性やものづくりの魅力に気づき、地域と連携することで、作品を見てもらえたり、評価されることで、学生の自信にもつながっている。また、地域のイベントに積極的に参加することで子どもから大人まで多くの方に竹のものづくりを体験していただいた。今後、既存の地域のイベントだけでなく新たなイベントの提案をすることが課題となる。